

ありたい姿	マテリアリティ	社会にもたらす価値	関連するSDGs	リスク(◆)	機会(◇)	主な取り組み
独自のセラミック技術でカーボンニュートラルとデジタル社会に貢献する	気候変動への対応	バリューチェーン全体にカーボンニュートラルを働きかけ、CO <sub>2</sub> 排出ネットゼロの事業活動を目指します。データとデジタル技術の活用を通じてカーボンニュートラル関連製品の開発スピードを加速し、独自のセラミック技術を中核とした製品・サービスの開発・提供により、2050年までのカーボン・ニュートラル社会の実現に貢献します。	 	◆内燃機関関連のマーケットが縮小 ◆自然災害による操業への影響 ◆地政学リスク ◆GHG削減・エネルギー転換によるコスト増 ◆ブランド・レピュテーションの毀損	◇CN関連のビジネス機会が拡大 ◇コスト削減 ◇ブランド・レピュテーションの向上	地球温暖化の緩和策(事業プロセス)排出量の把握と開示 NGKグループのCN関連製品およびサービス 気候シナリオに基づくリスク把握と対策(適応策) サステナブルファイナンスの活用 外部団体との協力
資源循環の推進	持続可能な天然資源の使用、廃棄物の再資源化、代替材料の活用などを通じて、資源効率の高い製品・サービスを開発・提供することで、資源の有効活用および資源循環の推進に貢献します。また、生産拠点における水ストレス評価および生産工程での高効率な水利用をするともに、製品・サービスの開発・提供を通じて水資源の有効活用にご貢献します。	持続可能な天然資源の使用、廃棄物の再資源化、代替材料の活用などを通じて、資源効率の高い製品・サービスを開発・提供することで、資源の有効活用および資源循環の推進に貢献します。また、生産拠点における水ストレス評価および生産工程での高効率な水利用をするとともに、製品・サービスの開発・提供を通じて水資源の有効活用にご貢献します。	     	【資源】 ◆資源の枯渇・価格高騰 ◆地政学リスク ◆省資源・資源の再利用への対応の遅れ  【水の安全保障】 ◆ブランド・レピュテーションの毀損 ◆操業への影響、コスト増 ◆水質汚染	【資源】 ◇資源循環に関するビジネス機会の拡大 ◇希少金属の枯渇等に伴うビジネス機会の拡大 ◇セラミック原材料の活用 ◇コスト減  【水の安全保障】 ◇ブランド・レピュテーションの向上 ◇水処理関連製品(膜など)のビジネス機会が拡大	【資源】 排出物の削減 資源循環型のビジネスモデル開発 リサイクル技術開発  【水の安全保障】 方針、基本姿勢の共有 水資源の有効利用 水リスクの管理 水処理ビジネス関連製品 外部団体への協力
環境汚染の防止	製造工程での汚染予防や化学物質の適正管理を徹底しつつ、独自のセラミック技術を用いた汚染防止に関する製品・サービスの開発と提供により、安全・安心な社会に貢献します。	製造工程での汚染予防や化学物質の適正管理を徹底しつつ、独自のセラミック技術を用いた汚染防止に関する製品・サービスの開発と提供により、安全・安心な社会に貢献します。	   	◆コンプライアンス ◆大気・水・廃棄物への対応 ◆化学物質への対応 ◆地域社会への影響 ◆内燃機関関連ビジネスの縮小	◇排ガス関連事業の拡大 ◇大気・水質関連事業の拡大 ◇原子力関連廃棄物処理事業の拡大	化学物質管理 排気・排水への対応 環境マネジメントシステムの運用 NGKグループの環境貢献製品およびサービス 地域社会での貢献
生物多様性の保全と再生	従業員一人ひとりが環境保全の意識を持ち、自社のバリューチェーンにおける生態系への環境負荷を最小限に抑制しつつ、環境貢献製品の開発・提供を通じて生物多様性の保全と再生に貢献します。	従業員一人ひとりが環境保全の意識を持ち、自社のバリューチェーンにおける生態系への環境負荷を最小限に抑制しつつ、環境貢献製品の開発・提供を通じて生物多様性の保全と再生に貢献します。	  	◆ブランド・レピュテーションの毀損 ◆操業への影響 ◆サプライチェーン等への影響	◇ブランド・レピュテーションの向上 ◇生態系に配慮したビジネス・製品の拡大	イニシアチブへの参加 調達先との連携 生物多様性の影響評価と対応 汚染防止製品・サービスによる貢献 ボランティア活動および緑地化
品質と製品の安全性の追求	お客様視点に立った信頼される品質を追求し、期待を超えた安心・信頼のある製品・サービスを安定的に供給することで、より良い社会づくりに貢献します。	お客様視点に立った信頼される品質を追求し、期待を超えた安心・信頼のある製品・サービスを安定的に供給することで、より良い社会づくりに貢献します。	  	◆ブランド・レピュテーションの毀損 ◆訴訟リスク	◇ブランド・レピュテーションの向上 ◇競争力の向上 ◇ビジネス機会の拡大	品質活動体制の見直し 業務品質改善の取り組み 品質リスク低減活動(QRE-P(Quality Risk Elimination-Process)活動) QuiC(Quality up innovation Challenge)活動 品質経営教育の強化 「コト」品質保証への展開 製品の安全性の担保
デジタル社会インフラへの貢献	独自のセラミック技術をベースとした製品を供給することで世界のデジタル技術の発展に貢献し続けます。また、強固な情報セキュリティを確立することで文化的で安全なデジタル社会の一員としての責任を果たします。	独自のセラミック技術をベースとした製品を供給することで世界のデジタル技術の発展に貢献し続けます。また、強固な情報セキュリティを確立することで文化的で安全なデジタル社会の一員としての責任を果たします。	 	◆ブランド・レピュテーションの毀損 ◆サイバー攻撃 ◆情報漏洩 ◆セキュリティ強化のコスト増	◇デジタル社会関連等のビジネス機会が拡大 ◇ブランド・レピュテーションの向上	新たなデジタル関連製品の開発 デジタル関連事業の拡大 方針、基本姿勢の共有 情報セキュリティ体制づくりと対策 情報セキュリティ教育・訓練 個人情報保護体制づくりと教育
人材価値の向上	多様な経験・価値観を持った人材が活躍する豊かで活気ある職場環境を整備し、従業員一人ひとりが自律的に挑戦し高めあうことで、社会に新しい価値を提供していきます。	多様な経験・価値観を持った人材が活躍する豊かで活気ある職場環境を整備し、従業員一人ひとりが自律的に挑戦し高めあうことで、社会に新しい価値を提供していきます。	  	◆コンプライアンス ◆ブランド・レピュテーションの毀損 ◆採用競争力の低下、人材流出 ◆能力開発 ◆社内制度の硬直化	◇人材の採用・確保 ◇DE&I推進による多様な人材の活躍 ◇能力開発による人材の成長 ◇生産性向上	【労働慣行】 ・人事制度の見直し ・ワーク・ライフ・バランス ・労使の取り組み 【ダイバーシティ】 ・現地採用方針の見直し ・ダイバーシティ推進体制を支える各種制度 ・ダイバーシティ推進の取り組み 【人材育成】 ・従業員向け能力開発 ・人材の確保と維持 【労働安全衛生】 ・方針、基本姿勢の共有 ・安全衛生の取り組み ・労働安全衛生マネジメントシステムの外部認証 ・安全衛生教育 【健康経営】 ・方針、基本姿勢の共有 ・総労働時間短縮への取り組み ・心身の健康増進を図る活動 ・階層別メンタルケア教育 ・従業員の健康増進への取り組み ・感染症などグローバルな健康問題への対応
人権の尊重	自社およびバリューチェーンにおける人権を尊重する取り組みを展開することで、事業活動が影響を及ぼす全ての人々の人権が侵害されないことのない社会づくりに貢献します。	自社およびバリューチェーンにおける人権を尊重する取り組みを展開することで、事業活動が影響を及ぼす全ての人々の人権が侵害されないことのない社会づくりに貢献します。	     	◆ブランド・レピュテーションの毀損 ◆取引先への影響 ◆操業・訴訟リスク ◆コスト・負債の増加 ◆採用・人材 ◆潜在的な人権リスクと顕在化	◇ブランド・レピュテーションの向上 ◇人材の採用・確保	方針、基本姿勢の共有 人権リスク調査 人権デュー・デリジェンスの取り組み グリーバンスメカニズム(苦情処理の仕組み)の導入 人権教育 人権取り組みの発信
持続可能な調達の推進	調達の基本方針である「門戸開放」「共存共栄」「社会的協調」に基づき、サプライチェーンを構成する調達パートナーの皆さまとともに、人権、環境、公正な事業活動等に配慮した調達を推進することで供給責任を果たし、社会の幸せと持続可能な発展に貢献します。	調達の基本方針である「門戸開放」「共存共栄」「社会的協調」に基づき、サプライチェーンを構成する調達パートナーの皆さまとともに、人権、環境、公正な事業活動等に配慮した調達を推進することで供給責任を果たし、社会の幸せと持続可能な発展に貢献します。	    	【環境】 ◆サプライチェーンの環境負荷増大による調達への影響 ◆CO <sub>2</sub> 削減への対応によるコスト増など ◆廃棄物、リサイクルに関する市場からの要請 ◆原材料・希少金属の枯渇 ◆化学物質の規制強化  【社会】 ◆ブランド・レピュテーションの毀損 ◆取引先への影響 ◆調達への影響	【環境】 ◇ブランド・レピュテーションの向上 ◇代替原材料の活用による安定調達確保とコスト低減  【社会】 ◇ブランド・レピュテーションの向上 ◇安定したサプライチェーンの構築	方針、基本姿勢の共有 サプライチェーン管理体制 サプライヤーのリスク評価・モニタリング サプライヤーへの要請・要求 サプライヤーの取り組み支援 持続可能な調達を想定した製品設計